

⑤研究指導・研修等に関する事業一覧

プロジェクト名	担当部門	頁
国際研修（セ09）	文化遺産国際協力センター	73
無形文化遺産に関する助言（無）	無形文化遺産部	74
文化財の材質に関する調査と援助・助言（保）	保存修復科学センター	74
文化財の修復及び整備に関する調査・助言（修）	保存修復科学センター	75
美術館・博物館等の環境調査と援助・助言（保）	保存修復科学センター	76
文化財の虫菌害についての調査・助言（保）	保存修復科学センター	78
保存担当学芸員研修（保05）	保存修復科学センター	79
連携大学院教育（共）	保存修復科学センター	81

国際研修「紙の保存と修復」(⑤セ09-11-1/5)

目 的

日本の紙文化財を所蔵する海外の美術館・博物館に専門の保存修復家が所属していることは稀であり、海外の保存担当者からの保存修復についての問い合わせは多い。日本美術品の保存・修復・活用を行うには、材料や技法などの基礎的な理解と取扱い、修復の実技研修が必要であるが、海外でそのような機会を得ることは困難である。また近年では、日本美術品に限らず、和紙を使った修復技術が海外の文化財修復に応用されるようになってきた。そこで本研修では、紙文化財に関する保存修復の講義および演習を通して、参加者に紙文化財に関わる基礎知識を伝えるための研修を行う。

概 要

研修日程：2011（平成23）年8月29日～9月16日

研修場所：九州国立博物館、その他

研修対象：紙文化財の保存と修復を担当する学芸員、修復技術者、科学者および保存担当者

研修参加者（10名）：

ABDOLLAHI Parisa（テヘランアザッド大学・イラン）

BOUDALIS Georgios（ビザンチン文化博物館・ギリシャ）

CRESPO Luis（スペイン国立図書館・スペイン）

GINDROZ Florane（ジュネーブ図書館・スイス）

KEMPAIAH PUTTASWAMY Madhu Rani（インド芸術文化遺産ナショナルトラスト・インド）

ODOR CHAVEZ Alejandra（メキシコ国立公文書館・メキシコ）

SNITKUTE Daiva（ミカロユス コンスタンティナス チュルリオーニス国立美術館・リトアニア）

STIGLITZ Marinita（オックスフォード大学ボドリアン図書館・イギリス）

WITKOWSKA Monika（パリ第一大学・フランス）

MAHEUX Anne Frances（カナダ国立図書館公文書館・カナダ）

研修内容

<講義、その他>

8月29日：オリエンテーション、自己紹介。8月30日：「装幀概念」岡泰央。「日本絵画修復に用いられる接着剤について」早川典子。8月31日：「紙の基礎」加藤雅人。9月2日：自己紹介。9月13日：「古文書の紙について」藤田励夫。9月15日：ディスカッション。

<実 習>

8月30日～9月2日、9月12日～15日：卷子修復（虫損直し～卷子装の仕立て）。和綴じ冊子作製。屏風、掛軸の取扱。

<スタディーツアー>

9月6日～9日：名古屋市（徳川美術館。紙の温度。）、岐阜県美濃市（長谷川和紙工房見学。美濃和紙の里会館、観覧および和紙の手漉き。美濃史料館観覧。美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区見学）、京都市（修復材料・道具店。岡墨光堂（修復工房）見学）。

研究組織

○川野邊渉、加藤雅人、楠京子、山田祐子、川端冴子（以上、文化遺産国際協力センター）、山口加奈子（保存修復科学センター）、安孫子卓史、深井啓、谷村彩、的場麻美（以上、研究支援推進部）

無形文化遺産に関する助言 (⑤無)

無形文化遺産の保存・伝承・活用等に関する各種委員会等へ出席し、以下の指導・助言を実施した（宮田繁幸、高桑いづみ、飯島満、俵木悟、菊池理予、今石みぎわ）。

- (1) 文化庁伝統文化課への助言（無形文化遺産保護条約への対応に関して） 3件
- (2) 農林水産省大臣官房政策課への助言（「和食」のユネスコ無形文化遺産代表一覧表への提案に関して） 4件
- (3) (財) 伝統文化活性化国民協会への助言（全国神楽協議会、無形文化遺産記録所在情報データベースに関して） 5件
- (4) (財) 日本青年館への助言（全国民俗芸能大会に関して） 2件
- (5) 日本芸術文化振興会への助言(文楽公演、芸術文化振興基金助成事業に関して) 4件
- (6) 山口県下松市への助言（箆織り技術の記録・伝承活動 事業に関して） 1件
- (7) 佐賀県立博物館への助言（寄贈楽器に関して） 2件
- (8) 出雲古代歴史博物館への助言（展示楽器に関して） 3件
- (9) 日本放送協会への助言（放送内容に関して） 1件
- (10) 日本ユネスコ協会連盟への助言（プロジェクト未来遺産運動に関して） 2件
- (11) 早稲田大学演劇博物館への助言（映像演劇学連携研究拠点事業に関して） 3件
- (12) 浮世絵木版画彫摺技術保存協会への助言（後継者養成事業青果物に関して） 2件

文化財の材質に関する調査と援助・助言 (⑤保)

(1) 文化財の材質調査

様々な文化財資料について、その材料や彩色を科学的に調査し、化学組成や化学的構造を明らかにした。可搬型の機器を用いて、文化財資料が置かれている場所での現地調査も実施した。調査終了後には報告書を作成し、分析依頼元へ提出した。

(資料名)	(所蔵者／依頼者)
染織品	文化庁
日本画	サントリー美術館
日本画	神戸市立博物館
木彫像	(財)美術院
染織品	女子美術大学
日本画	永青文庫美術館
日本画	東京藝術大学
漆絵	宮内庁三の丸尚蔵館
金銅仏	文化庁
日本画	広島市立大学
漆工品	広島県立美術館

(2) X線透視撮影による構造調査

X線透視撮影を用いて文化財資料の構造を調査し、資料の制作技法や劣化の状態を明らかにした。

	(資料名)	(所蔵者／依頼者)
絵画	屏風	サントリー美術館
	油彩画	株式会社ディヴォート
工芸品	刀剣	日本美術刀剣保存協会
	からくり人形	国立科学博物館
	漆器	個人像
	兜の前立	東京国立博物館
埋蔵文化財	漆棚	三菱重工業株式会社長崎造船所
	漆器	虎屋文庫
	鎧	神奈川県
	古銭	京都府
	出土銅製品	大分県臼杵市
彫刻	仏像	東京藝術大学
	仏像	京都府立丹後郷土資料館
その他	標本資料	国立科学博物館
	服飾品	杉野学園衣裳博物館

文化財の修復及び整備に関する調査・助言 (⑤修)

- ・国宝高松塚古墳壁画の保存修復に関する指導助言(川野邊渉、中山俊介、朽津信明、早川典子、森井順之)
- ・特別史跡・キトラ古墳壁画の保存修復に関する指導助言(川野邊渉、中山俊介、早川典子、森井順之)
- ・巖島神社の保存修復に関する指導助言(川野邊渉、北野信彦、早川典子、森井順之)
- ・国宝臼杵磨崖仏の保存修復に関する指導助言(川野邊渉、森井順之、早川典子、朽津信明)
- ・重要文化財霧島神宮本殿の修復に関する指導助言(川野邊渉、中山俊介、早川典子、森井順之、朽津信明、佐藤嘉則)
- ・天野山金剛寺所蔵重要文化財大日如来座像の修復に関する指導助言(朽津信明、早川典子)
- ・国宝法界寺阿弥陀堂壁画の保存状態及び搬出に関する指導助言(早川典子)
- ・国宝都久夫須麻神社本殿の蒔絵修理に科する指導助言(北野信彦、山下好彦)
- ・国宝瑞巖寺本堂の塗装彩色修理に関する指導助言(北野信彦)
- ・重要文化財菅尾磨崖仏の修復に関する指導助言(森井順之)
- ・国宝薬師寺東塔初層内部彩色の保存方法に関する指導助言(早川典子、朽津信明、楠京子)
- ・重要文化財・霧島神宮本殿の修復に関する指導助言(川野邊渉、中山俊介、早川典子、森井順之)
- ・重要文化財輪王寺慈眼堂廟塔附石造六天像の保存修復に関する指導助言(森井順之)
- ・日光二社一寺の世界遺産環境モニタリングに関する指導助言(川野邊渉、森井順之)
- ・史跡佐渡金銀山遺跡の保存管理計画に関する指導助言(中山俊介)
- ・史跡葦山反射炉の保存修復に関する指導助言(中山俊介)
- ・史跡萩反射炉の保存修復に関する指導助言(中山俊介)
- ・史跡原爆ドームの保存技術に関する指導助言(中山俊介)
- ・史跡竹原古墳の保存管理に関する指導助言(森井順之、犬塚将英)
- ・史跡屋形古墳群等うきは市内装飾古墳群の保存管理に関する指導助言(石崎武志、川野邊渉、朽津信明、森井順之、犬塚将英)

⑤研究指導・研修等 Area21

- ・大倉集古館所蔵重要美術品五層石塔の保存修復に関する指導助言（朽津信明、森井順之）
- ・東京都指定文化財候補地の史跡整備に関する指導助言（北野信彦）
- ・京都市中出土歴史資料の保存修復及び分析に関する指導・助言（北野信彦）
- ・高知城下町西広小路遺跡出土漆製品の整理及び分析に関する指導助言（北野信彦）
- ・広島県指定重要文化財磨崖和霊石地蔵の保存修理に関する指導助言（朽津信明、森井順之）
- ・大分県指定史跡羅漢寺五百羅漢の保存、記録に関する指導助言（森井順之）
- ・旧モーガン邸中門の塗装の修復に関する指導助言（朽津信明、早川典子）
- ・あるぜんちな丸1等食堂の漆棚の修復に関する指導助言（朽津信明、山下好彦、早川典子）
- ・明治村学習院長官舎の修復に関する指導助言（朽津信明、早川典子）
- ・塩尻市小野家住宅部材の塗装修理に関する指導助言（北野信彦）
- ・三佛寺奥院（投入堂）部材の塗装調査に関する指導助言（北野信彦）
- ・万世特攻平和祈念館の保存機体、部品及び紙資料の保存・修復に関する指導助言（中山俊介）
- ・早稲田大学演劇博物館所蔵のフィルモン音帯の保存・修復に関する指導助言（中山俊介、大河原典子）
- ・重要文化財加悦鉄道123号機関車の保存修復に関する指導助言（中山俊介）
- ・史跡萩反射炉の保存修復に関する指導助言（中山俊介）
- ・重要文化財旧日本郵船小樽支店の保存修復に関する指導助言（中山俊介）
- ・陸上自衛隊入間基地修武台記念館の収蔵環境に関する指導助言（中山俊介）
- ・みちのく北方漁船博物館の保存環境に関する指導助言（中山俊介）
- ・松浦市鷹島海底遺跡から出土した漆製品の調査及び保存修復作業に関する指導助言（北野信彦）

美術館・博物館等の環境調査と援助・助言（⑤保）

国宝・重要文化財などの指定品および東京国立博物館収蔵資料の展示・収蔵・借用に関して館内環境調査を行い、報告書を作成・提出した。

青森	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	大阪	高槻市立今城塚古代歴史館
岩手	もりおか歴史文化館	兵庫	姫路市立美術館
宮城	仙台市博物館	奈良	東大寺総合文化センター
群馬	藤岡歴史館		奈良県立万葉文化館
神奈川	鏑木清方記念美術館	島根	八雲立つ風土記の丘
新潟	十日町市博物館		島根県立古代出雲歴史博物館
三重	松阪市文化財センター「はにわ館」	香川	綾川町立生涯学習センター
	公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム	熊本	天草キリシタン館
	皇學館大学佐川記念神道博物館		熊本県立美術館
京都	京都文化博物館	宮崎	都城島津伝承館

現地調査は函館市縄文文化交流センター・鏑木清方記念美術館・高志の国文学館・金沢21世紀美術館・霊山歴史館・熊本県立美術館・天草キリシタン館・熊本市現代美術館の8館。

また函館市縄文文化交流センターなど、全国103館の新設既設美術館・博物館等文化財展示収蔵施設に対して環境改善に関する相談を受け、助言を行った。これらの館については各館ごとに環境調査ファイルを作成して調査を行っている。

北海道	函館市縄文文化交流センター	長野	長野県信濃美術館
青森	八戸埋蔵文化センター是川縄文館	岐阜	光記念館
岩手	岩手県立美術館 花巻市博物館 盛岡市歴史文化施設	静岡	佐野美術館 浜松市美術館
宮城	仙台市博物館 東北歴史博物館	愛知	名古屋市美術館
秋田	秋田県立美術館	三重	石水博物館 皇學館大学佐川記念神道博物館 パラミタミュージアム
福島	福島県立美術館		松阪市文化財センター「はにわ館」
茨城	国土交通省国土地理院		三重県立博物館
栃木	宇都宮美術館	京都	安楽寿院 大谷大学博物館 桂文化財修理工房 京都文化博物館 佛教大学アジア宗教文化情報研究所
群馬	群馬県立歴史博物館 藤岡歴史館 前橋市美術館開設準備室		元離宮二条城事務所 八幡市立松花堂美術館 霊山歴史館 龍谷ミュージアム
埼玉	城西大学水田美術館	大阪	大阪府立近つ飛鳥博物館 大阪歴史博物館 近鉄あべの美術館 高槻市立今城塚古代歴史館 高槻市しろあと歴史博物館
千葉	市川市東山魁夷記念館 君津市立久留里城址資料館	兵庫	たつの市立埋蔵文化財センター 姫路市立美術館 兵庫県立考古博物館 兵庫県立美術館王子分館原田の森ギャラリー
東京	宮内庁書陵部 外交史料館 国土舘大学イラク古代研究所 国立新美術館 五島美術館 すみだ北斎美術館 東京国立博物館 東京ステーションギャラリー 東京都美術館 東洋文庫 徳川美術館 日本銀行金融研究所貨幣博物館 根津美術館 一橋大学社会科学古典資料センター 文京区本郷図書館鳴外記念堂 三菱一号館美術館	奈良	橿原市千塚資料館 奈良県立万葉文化館 東大寺総合文化センター
神奈川	鎌木清方記念美術館 人形の家 箱根小涌谷修古館（仮）	島根	出雲弥生博物館 荒神谷博物館 島根県古代出雲歴史博物館 八雲立つ風土記の丘
新潟	十日町市博物館 新潟県立歴史博物館 新潟市立新津美術館 新潟市歴史博物館 星と森の詩美術館	岡山	大原美術館 岡山デジタルミュージアム
富山	高志の国文学館 富山県埋蔵文化財センター	山口	山口県立美術館 山口県立山口博物館
石川	金沢21世紀美術館	香川	綾川町生涯学習センター
山梨	釈迦堂遺跡博物館 山梨県立美術館	愛媛	松山市考古館
		高知	絵金蔵 高知県立歴史民俗資料館 土佐山内家宝物資料館
		福岡	北九州市立自然史・歴史博物館 九州歴史資料館

⑤研究指導・研修等 Area21

	福岡市美術館	大分	竹田市歴史資料館
	宗像市郷土文化学習交流施設	宮崎	都城島津伝承館
佐賀	武雄市図書館・歴史資料館		宮崎県総合博物館
熊本	天草市キリシタン館	鹿児島	黎明館
	熊本県立美術館	沖縄	首里城公園
	熊本市現代美術館		

文化財の虫菌害についての調査・助言 (⑤保)

文化財の虫菌害への個々の対応、もしくは防除方法全般について問い合わせを受け、調査や助言を行った(木川りか、佐藤嘉則、小峰幸夫、佐野千絵、犬塚将英、吉田直人、石崎武志)。

大阪歴史博物館	女子美術大学美術館
日本銀行貨幣博物館	法隆寺
静嘉堂文庫美術館	三千院
林原美術館	四日市市立博物館
出光美術館	仁和寺
東雲神社	東京慈恵大学病院病理部
(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター	北海道開拓記念館
鳥取県長谷寺	川越市立美術館
東京国立近代美術館	輪王寺
豪商の館 田中本家博物館	(社) 国宝修理装演師連盟
東京学芸大学図書館	和歌山県立近代美術館
観音塚考古資料館	白鶴美術館
巖島神社	延暦寺
都城島津伝承館	高知県立美術館
奈良文化財研究所	国立公文書館
大和ミュージアム	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
政策研究大学院大学図書館	愛知県東郷町教育委員会
茨城県近代美術館	沖縄県公文書館
国立歴史民俗博物館	堺市博物館
東大寺	神奈川県立歴史博物館
前橋市教育委員会	名古屋市博物館
杉野学園衣裳博物館	MOA美術館
豊北歴史民俗資料館	秋田市立千秋美術館

保存担当学芸員研修 (⑤保05-11-1/5)

(1) 保存担当学芸員研修

保存担当学芸員研修 日程：2011（平成23）年7月11日（月）～22日（金）、参加者数：27名

資料の「保存」は博物館や美術館といった文化財施設に課せられた大きな使命であるが、これは単に「保管」することではなく、資料の「文化財」としての価値が環境要因に起因する物理的、化学的変化によって損なわれることを防ぎ、後世に伝えることである。従って、「保存」は極めて自然科学的な行為であるが、それにも関わらず保存を担当する学芸員がそのための専門知識や技術を学ぶ機会は極めて乏しい。そのため、東京文化財研究所では、昭和59年以来毎年、資料保存を担当する学芸員などを対象とした「博物館・美術館等保存担当学芸員研修」を実施し、現場で自らの手で保存環境を把握し、必要な改善を行うことの出来る人材を育成してきた。これまでの修了生は700人近くに達し、各地で保存の重責を担っている。平成23年度は、28回目となる本研修を2週間実施した。

7月11日（月）

石崎武志「保存科学 総論」

佐野千絵「保存環境 各論 一文化財の材質・構造一」

吉田直人「保存環境 各論 一光と照明一」

朝賀浩（文化庁）「保存環境 各論 一文化財公開施設の設計一」

木川りか「生物被害 概論」

7月12日（火）

犬塚将英「保存環境 各論・実習 一温湿度一」

木川りか「生物被害 概論」

小峰幸夫（文化財虫害研究所）・木川りか「生物被害 実習 一文化財害虫同定一」

7月13日（水）

佐野千絵「保存環境 各論一室内汚染一」

山本記子（保存修復支援技術者 絵画・書跡）・木川りか「生物被害 実習 一カビの除去一」

山本記子「劣化と保存 各論 一日本画一」

三浦定俊「博物館の設備 一防災・防犯一」

木川りか「生物被害 実習 一トラップデータ解析一」

7月14日（木）

早川泰弘「保存環境 各論 一大気汚染一」

犬塚将英「文化財の科学的調査」

吉田直人「保存環境 実習 一室内汚染の測定法一」

ケーススタディテーマ打ち合わせ

7月15日（金）

山口孝子（東京都写真美術館）・白岩洋子（写真修復家）「劣化と保存 各論・実習 一写真一」

神庭信幸（東京国立博物館）「東京国立博物館における講義・見学」

7月19日（火）

木島隆康（東京藝術大学）「劣化と保存 各論 一油彩画一」

土屋裕子（東京国立博物館）「劣化と保存 各論 一修復材料一」

犬塚将英「温湿度実習解説」

森井順之「激甚災害と文化財施設」

木川りか・佐藤嘉則・小野寺裕子「水損紙資料の応急処置 一スクウェルチ法一」

⑤研究指導・研修等 Area22

7月20日(水)

「環境調査実習 ―ケーススタディー」(於:八千代市立郷土博物館)

7月21日(木)

加藤雅人「劣化と保存 各論 ―紙―」

北野信彦「劣化と保存 各論 ―漆工品―」

高妻洋成(奈良文化財研究所)「劣化と保存 各論 ―考古資料―」

ケーススタディ発表

7月22日(金)

北野信彦「劣化と保存 各論 ―民具―」

石崎武志「劣化と保存 各論 ―屋外の文化財―」

研修参加者:久永茂人、伊達元成、前村文博、岡野雅枝、折井貴恵、宮下聡史、高橋典子、矢野進、高橋悠介、早田旅人、清水緑、大楽和正、渡辺礼子、平林研治、大島徹也、門口実代、奥田晶子、川勝美早子、藤田淳、松原祥子、中村麻里子、村山望、杉山未菜子、片多雅樹、奥野正太郎、山田貴司、和田一之輔
所属:国立国会図書館、伊達市噴火湾文化研究所、宇都宮美術館、富岡製糸場総合研究センター、川越市立美術館、八千代市立郷土博物館、出光美術館、世田谷美術館、神奈川県立金沢文庫、平塚市博物館、三溪園保勝会、新潟県立歴史博物館、砺波市立砺波郷土資料館、三島市郷土資料館、愛知県美術館、三重県生活文化部新博物館整備推進室、彦根城博物館、島津製作所創業記念資料館、兵庫県立考古博物館、松江歴史館、岡山県立美術館、高知県立美術館、福岡市博物館、長崎県埋蔵文化財センター、長崎原爆資料館、熊本県立美術館、文化庁美術学芸課

(2) 博物館・美術館等保存担当学芸員研修フォローアップ研修 ―今後の生物被害対策のあり方―

1981(昭和56)年より毎年、当研究所で開催している博物館・美術館等保存担当学芸員研修の修了者数は600人を超えた。修了生の尽力によって、収蔵・展示環境は大きく改善し、またそのための知識も広く認識されるに至った。しかし、この間にも、科学の進歩とともに、館内環境改善のための技術は発展し続けている。また、地球温暖化、夏季や大震災後の節電対策など、最近の博物館・美術館をとりまく情勢にも、以前には見られなかった変化が生じている。このような状況に伴い、従来とは異なる知識が学芸員に要求されている。本研修では、保存担当学芸員研修修了者を対象に、その職務に必要な最新の知識を常に持つことを目的に、再研修を行おうとするものである。

日程:2011年6月27日(月)、会場:東京文化財研究所、参加者:87名

プログラム・講師

佐野千絵「生物被害発生時の対応」

三浦定俊(客員研究員・公益財団法人文化財虫害研究所理事長)

「文化財虫害研究所における薬剤認定について」

木川りか「巡回展などでの生物被害対応の流れについて」

木川りか「被災文化財レスキューにおける初期対応について」

木川りか、佐藤嘉則、小野寺裕子「スクウェルチ法のデモンストレーション」

(3) 資料保存地域研修

博物館・美術館などの文化財公開施設における資料保存は、保存を担当する学芸員の力だけによってなされるものではない。学芸員以外の館長、事務職や警備員、監視員、空調機器の管理・保守作業員など、博物館の様々な業務に携わる多くの人々が共同で行うものである。本研修は文化財保護に関する知識を、文化財公開施設に勤務するできるだけ多くの職員に理解してもらうため、各地の博物館協議会などの協力を得て開催するものである。

[第16回] 日程:2011年11月16日(水)~17日(木)、会場:熊本市現代美術館

共催:財団法人熊本市美術文化振興財団、後援:熊本県博物館連絡協議会・熊本県市町村文化財担当者連絡協議会、参加者:67名

プログラム・講師

《第1部》資料保存環境の基礎

石崎武志 「保存環境概論」

犬塚将英 「温度と湿度」

吉田直人 「光と照明」

佐野千絵 「空気環境」

佐野千絵 「生物被害概論」

《第2部》現代美術系施設における保存

佐野千絵 「設計から見た現代系美術館の特徴」

吉田直人 「現代美術館における資料管理の在り方」

連携大学院教育 (⑤共)

東京藝術大学：システム保存学（保存環境学、修復材料学）

1995（平成7）年4月より東京藝術大学と連携して大学院教育を行い、21世紀の文化財保存を担う人材を育成している。システム保存学は、文化財の保存環境を研究する保存環境学講座と保存修復に用いる材料について研究する修復材料学講座の2講座から成っている。各講座3名ずつ研究所所員が連携教員として研究教育指導に当たっている。

開設講座と連携教員

保存環境学講座

連携教授 石崎武志（副所長）

連携教授 佐野千絵（保存科学研究室長）

連携准教授 木川りか（生物科学研究室長）

修復材料学講座

連携教授 中山俊介（近代文化遺産研究室長）

連携教授 北野信彦（伝統技術研究室長）

連携准教授 朽津信明（修復材料研究室長）

助手 古田嶋智子（東京藝術大学大学院教育研究助手）

授業および主たる担当教員

保存環境計画論（前期） 佐野千絵 連携教授

修復計画論（前期） 北野信彦 連携教授

修復材料学特論（前期） 中山俊介 連携教授・朽津信明 連携准教授

保存環境学特論（後期） 石崎武志 連携教授・木川りか 連携准教授

文化財保存学演習（2011年6月14日）

「考古・民俗資料の保存修復に関する講義及び実習」

会場：東京文化財研究所

担当：北野信彦 連携教授



実習風景